

科研費 令和 4 年度実績報告書の作成について

1. 実績報告書提出までの具体的な手順

(1) 令和4年度の執行を完了→収支サンプルの送付

執行が完了後、4月中旬ごろより科研費管理担当者から随時、実績額が表示された「収支サンプル」をお送りいたします。こちらを参考に「科研費電子申請システム」で実績報告書の作成を開始してください。

※基金継続課題の令和4年度執行額＝3月末までの支払完了額です。

4月以降支払分として提出いただいた伝票は令和5年度分の執行といたします。

(2) 科研費電子申請システムにログイン ※すでに4月1日より入力が可能である状態です。

「科研費電子申請システム」ホームページより、ログインしてください（ID・PWの入力が必要です）。

<http://www-shinsei.jsps.go.jp/kaken/>

「研究者ログイン」より入ってください。（特別研究員奨励費は「特別研究員奨励費交付ログイン」）

(3) 実績報告書情報の Web 入力

『交付決定後の手続きを行う』→該当課題の右端の状況欄の『課題状況の確認』

→実績報告書欄の『入力』をクリックし、実績報告書の入力を開始してください。

※「実績報告書」を入力していくと、自動的に下記の2つの報告書が作成されます。

- 収支決算報告書 または 収支状況報告書
- 研究実績報告書 または 研究実施状況報告書

※電子申請システムの研究期間の記載において「収支サンプル」と年度表記が異なる場合がございます。

（平成 31 年度＝令和元年度 etc）

(4) Web 送信締切：5月8日（月）【厳守】

①『収支決算報告書の確認』および『研究実績報告書の確認』で PDF をダウンロード・確認し、内容に問題がなければ『確認完了・送信』をクリック →『OK』をクリックしてください。

※『確認完了・送信』後、事務局側で確認できます。

②「処理状況一覧」画面の「処理状況」が「所属研究機関受付中」になっていることをご確認ください。

③「2. 様式および送付先メールアドレス」をご参照の上、メールにて以下の2点についてお知らせください。

a.システム上で送信が完了した旨：メールの件名：【実績報告書完了】（課題種目名）●●●●←フルネーム

b.期間中のご出張など、作業できない期間がある場合は、その旨お知らせください

(5) 修正完了締切：5月15日（月）【厳守】

事務局点検後、下記どちらの場合もご連絡いたします。

加筆修正の必要ありの場合

「科研費電子申請システム」にて入力内容の修正作業後、あらためて（4）①～③の作業を行なってください。再度事務局にて点検後、加筆修正の必要がなければ手続きは完了となります。

加筆修正の必要なしの場合

手続きは完了となります。

※書類への押印、紙媒体での提出は不要となりました。

2. 様式および送付先メールアドレス

種類	様式		区分
	実績報告書 (収支決算報告書)	実績報告書 (研究実績報告書)	
補助金	C-6	C-7-1	A
基金 (R5 への継続課題)	F-6-1 F-6-3 (収支状況報告書)	F-7-1 F-7-3 (研究実施状況報告書)	B
基金 (R4 で終了課題)	F-6-2 F-6-4 (収支状況報告書)	F-7-2 F-7-4 (研究実施状況報告書)	C

所属キャンパス	区分	送付先メールアドレス
衣笠	A・B・C	knhoku@st.ritsumei.ac.jp ※担当者より「収支サンプル」をメールで お送りさせていただきますので、そのメール に全返信でご返信ください。 ※4/19 以降順次送らせていただきます。
OIC	A・B・C	o-kaken2@st.ritsumei.ac.jp
BKC	A	bhokoku1@st.ritsumei.ac.jp
	B	bhokoku2@st.ritsumei.ac.jp
	C	bhokoku4@st.ritsumei.ac.jp

3. 実績報告書入力時の注意点

下記は実績報告書の項目で間違いやすい点、お問い合わせの多い点です。入力時ご留意ください。

① 研究発表【雑誌論文】

- ・昨年度報告書に【掲載確定】としたものを今年度報告書に掲載することはできません。
- ・国際共著論文(異なる国を拠点とする複数の研究者による共著論文)の場合には、チェックを入れてください。
- ・当該論文をオープンアクセス誌に発表した場合や、機関リポジトリに登録するなどセルフ・アーカイブ等により公開した場合、あるいはいずれかの予定がある場合(実施時期は問わない)には、チェックを入れてください。(DOIで検索した場合は反映されません。)

② 研究発表【学会発表】

- ・昨年度報告書に【発表確定】としたものを今年度報告書に掲載することはできません。
- ・招待公演の場合は、チェックを入れてください。
- ・国際学会の場合は、チェックを入れてください。

③ 研究発表【図書】

- ・昨年度報告書に【発行確定】としたものを今年度報告書に掲載することはできません。

④ 科研費を使用して開催した国際研究集会

- ・当該科研費を使用して国際学会・国際会議等の国際研究集会を開催した場合（費用の一部を負担したものも含む）は、「国際研究集会名」、「開催年」を入力してください。

《こちらもご参照ください》

- ・「【雑誌論文】項目で間違いが多い点」

<http://www.ritsumeai.ac.jp/file.jsp?id=377652>

- ・「実施状況報告書、実績報告書作成時の DOI・ISBN 検索機能及び CSV 一括取込機能について」

<http://www.ritsumeai.ac.jp/file.jsp?id=375983>

- ・「雑誌のオープンアクセス・科研費を使用して開催した国際研究集会」

<http://www.ritsumeai.ac.jp/file.jsp?id=417003>

以上